

眉骨で支える新発想のさばえルーペの誕生 地元同業他種連携による異業種需要の獲得

めがねのまち鯖江で眼鏡部品を中心に金属加工を行う。「ベンディング（巻き）加工」と「コイルング（曲げ）加工」を得意とし、難加工材であるチタンやチタン合金を自在に扱う業界屈指の技術力を誇る。既存の技術にこだわらず、レーザーマーキングやレーザー溶接、ロボット導入など新しい技術も積極的に取入れている。長年の金属加工で培ってきた確かな技術や知見を使い、自社開発した『さばえルーペ』が多方面から絶賛されている。

●所在地	福井県鯖江市舟枝町5-13-4
●電話／FAX	0778-54-0123／0778-54-0700
●URL	https://www.h-bending.co.jp
●代表者	代表取締役 萩原 勉

●設立	1993年
●資本金	1,500万円
●従業員数	30名



「さばえルーペ」 ～今までにない天使の掛け心地～

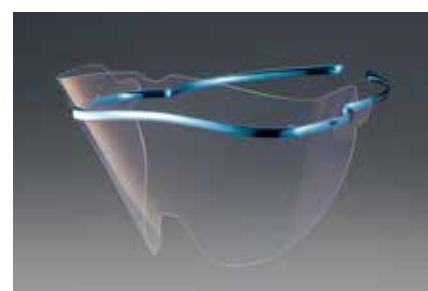
眉骨で支える新発想の「さばえルーペ」は、鯖江市長が命名した。眉骨でフロント部を支え、後部は頭をテンプルで包み込むように装着する構造にすることで、荷重が分散され、今までにない柔らかな掛け心地と安定感を実現している。眼鏡の保持方法と競合しないため、ストレスなく眼鏡と併用が可能となっている。開発の段階から携帯性を重視し、レンズ保持部やテンプルを折りたためる構造としたことで、収納時の厚み約13mmを実現。胸ポケットに収まる専用ケースで持ち運び可能となっている。



眉骨で支える新発想の「さばえルーペ」

今後需要が増えるであろう、ウェアラブルフレーム製作に特化

2012年ごろ海外大手IT企業からの依頼で、チタン製ウェアラブルフレームの試作を始めた。他国の企業との競争に総合力で勝利ファーストベンダーとなる。試作機の開発から一次量産まで携わり、確固たるチタンフレームの曲げ技術確立。このとき得た技術力と知見が国内の様々な企業から求められ、数々のウェアラブルフレームの開発依頼を受けるまでになっている。現在手掛けている医療シールド用チタンフレームは、欧州などに輸出され高い評価を得ている。



医療シールド用チタンフレーム

地元同業他種企業との連携を強化し、異業種からの需要獲得

横の連携がない眼鏡業界において、受注減少に危機感を覚えた同業他種企業5社（現在は6社）が、異業種からの需要獲得のため平成20年に「チタンクリエイター福井グループ」を立ちあげ、結成。展示会等で、眼鏡部品製造で培った技術力をアピールし、医療や美容、アクセサリ等、様々な異業種から受注獲得に成功。グループ内で対応できない案件は、他の県内企業を紹介する等、パイプ役も担っている。



チタンクリエイター福井グループ展示会